

芸術の秋 利賀の秋

利賀村は、日本屈指の大自然に満ちた里です。

そこには、世界演劇祭「利賀フェスティバル」の舞台となった
利賀芸術公園を中心とした施設があります。

日本の古き良き時代の里の魅力を感じ、演劇の魅力を興じに、
秋の紅葉とともに行われるこの祭典に是非お越しください。

利賀村より

夢十夜

14:00開演 利賀山房

鳥取県より

夜光るもの

～小泉八雲劇場

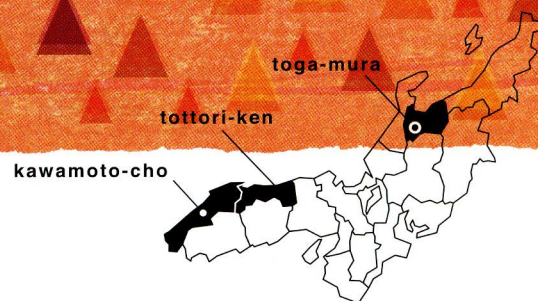
16:00開演 新利賀山房

川本町より

合唱と吹奏楽によるミュージカル

あいと地球と競売人

18:00開演 アーパスホール



平成15年度

舞台芸術活性化事業

2003年10月25日[土] 利賀芸術公園／利賀村複合教育施設アーパス

主催＝「夢十夜」実行委員会／2003「あいと地球と競売人」公演実行委員会／鳥取県・アーツデザイン鳥取実行委員会

共催＝(財)地域創造／利賀村／(財)富山県文化振興財団・利賀芸術公園 総合プロデュース＝(財)舞台芸術財団演劇人会議



宝くじは
豊かさ築く
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に
役立てられています。

平成15年度

舞台芸術活性化事業

2003年10月25日[土]

会場＝利賀芸術公園

利賀村複合教育施設アーパス

舞台芸術活性化事業とは、平成8年度より開始され、財団法人地域創造と地方公共団体との共催により、各地域で活躍する演劇人との全国的に活躍する演劇人との共同作業によって、舞台作品を創造し、発表しようとするものです。これまで全国から様々な地域が参加、それぞれの地域での活動の成果である舞台芸術の作品の上演はもちろん、地域での文化活動のあり方を議論するシンポジウムの開催など多彩な活動を展開してまいりました。

チケット発売開始＝2003年10月10日[金]
チケット料金＝2,000円(3公演通しチケット)

※25日の公演すべて観劇できます。

チケット取扱い＝(財)富山県文化振興財団・利賀芸術公園
Tel. 0763-68-2028 (平日9:00-17:00)

※会場にはチケットのご予約順に入場していただきます

お問合せ＝(財)富山県文化振興財団・利賀芸術公園
〒939-2513 富山県東砺波郡利賀村上百瀬 Tel. 0763-68-2028

[利賀芸術公園までのアクセス]

JR利用の場合

JR高山本線越中八尾駅より利賀村営バスで約1時間

JR北陸本線高岡駅より加越能バス(庄川町行・下原行・西赤尾行)で
井波町下車(約50分)、井波町より利賀村営バスで約1時間

飛行機利用の場合

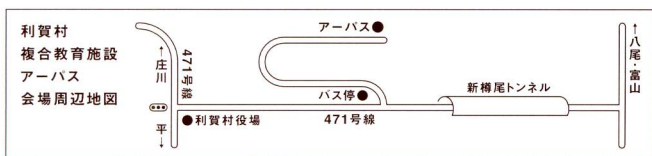
富山空港よりタクシーで約1時間(12,000円程度)／富山空港よりリムジンバスで富山
駅下車(約30分)、JR高山本線で越中八尾駅下車、利賀村営バスで約1時間

自動車利用の場合

北陸自動車道 砺波ICより約1時間(約35km)

村営バスの時刻表

越中八尾発	会場着	会場発	越中八尾着	井波町発	会場着	会場発	井波町着
11:05 → 12:08	7:19 → 8:20			11:10 → 12:08	7:19 → 8:20		
16:55 → 17:58	13:17 → 14:20			17:00 → 17:58	13:17 → 14:15		
料金 1,000円				料金 1,100円			



JPAF 財団法人 Japan Performing Arts Foundation
舞台芸術財団演劇人会議



利賀村

夢十夜

14:00開演 利賀山房

[原作] 夏目漱石

[作] 木村 繁・キタミコエ

[演出] 木村 繁 [美術] 福永朝子

[振付] 佐藤小夜子

[照明] 御原祥子 [音響] ノノヤマナコ

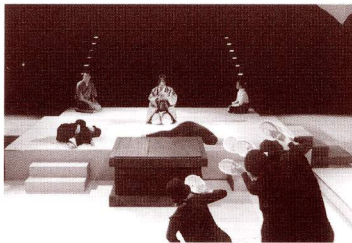
[衣装] 木場絵理香

[照明オペレーター] 永草友士

[音響オペレーター] 細川ひろめ

[舞台監督] 近藤朋文

[協力] 人形劇団むすび座



鳥取県

夜光るもの

～小泉八雲劇場

16:00開演 新利賀山房

[照明] 木藤 歩

[舞台美術] 植田大介

[衣装] 石丸美枝子 [小道具] 佐藤幸代

[舞台装置] 夢ORES

[制作] 佐藤幸代／森本幸子



川本町

合唱と吹奏楽によるミュージカル

あいと地球と競売人

18:00開演 アーパスホール

[作・作詞] 東 龍男

[作曲・編曲] 平吉毅州 [編曲] 真島俊夫

[監修・総合振付] 山田 卓

[舞台デザイン] 土屋茂昭

[衣装デザイン] 任田幾英 [演出] 山口正義

[振付・演出補] 木村かなえ

[音楽監督・指揮] 谷口栄一

[演出助手] 嶋田雅司／新屋由美子

[歌唱指導] 曾田牧子

高橋並子／中村玲子／金山瑞枝

[振付助手] 宇山民代

貝谷万里子／服部靖子

演劇の村、利賀の未来を作るのは子どもたちです。子どもたちが大人になっても語り継がれるほどの印象的な舞台を作りたい。そんな思いで利賀の子どもたちと名古屋や東京の演劇人の共同作業が始まりました。子どもたちは村に古くから伝承されてきた民謡、こっきりこ節、たろじ節、初午で出演します。

小説夢十夜より文豪夏目漱石が見た三つの夢を、そして誰も秘めたる心象風景を利賀山房の闇に幻想的に描きます。俳優と人形、オブジェが共存し、新たな感覚をもたらすオブジェクト・シアター、初登場です。

[出演] 浦 弘毅(劇団山の手事情社)／杉浦佳代子

坪内俊樹(OPT)／松浦正幸

三村 聡(劇団山の手事情社)／井上一倫

杉浦紀行／多田さとみ(OPT)／畑 直子(OPT)

林 愛子(OPT)／森 明子(人形劇団むすび座)

山口寛子／上利賀民謡保存会

両百瀬子供民謡保存会／利賀初午保存会

舞台は古びた旅館の一室での男(小泉八雲)と若い男の会話から始まり、「ろくろ首」「雪女」「のっぺらぼう」などの怪談がコラージュされています。

劇空間は次第に現実を離れ「言葉の世界」「物語の世界」を移ろい重なりあっていくのです。元々演劇作品として書かれた世界にダンスが絡み合い、フュージョンドラムがセッションします。ジャンルの異なる表現が出会い、コラボレーションによる新たな表現が立ち現れてきます。

[出演]

石丸美枝子／福田エリカ／田中悦子

浜田英紀／加藤朋子／公納峰

佐分利育代／三島麻美／金森千巴耶

小谷恵美子／相川千春／井上陽子／大樹

暗黒の世界の妖怪の首領は地球を競売にかけ売り払おうとしますが、まだきれいなためもっと地球を汚して手に入れようとたくらみます。そんな中、あいちゃんは力を合わせれば地球環境を守ることができる、その気持ちをマンガで世界に訴えていこうとします。あいちゃんを恐れ始めた暗黒の妖怪たちはあいちゃんの暗殺を企て、あいちゃんは天に召されています。これを機に、子どもたちはあいちゃんの夢をかなえようと決意しますが、暗黒の妖怪たちは子供たちにまで襲いかかります。はたしてあいちゃんの想いはかなうのでしょうか。

[出演]

あいちゃん＝佐々木望美

競売人＝米原哲治 妖怪の首領＝今岡雄二

死神＝上田亜由美／佐々木直子／古部律子

捜査官＝近藤靖彦／豊島行秀

天使＝漆谷美希／河野智恵／坂根ふみ／藤田早葉

キャスト総勢77名

[企画・制作]

2003「あいと地球と競売人」公演実行委員会